

提出日: 2024 年 4 月 1 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	教授	宇佐美 毅

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2023年4月 1日 ～ 2024年3月31日
	2. 2023年9月 1日 ～ 2024年8月31日
	3. 2023年4月 1日 ～ 2023年9月20日
	4. 2023年9月21日 ～ 2024年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	研究課題の骨子とした2点に沿って、研究をおこなった。 1点目は村上春樹を中心とした現代小説の研究である。村上春樹代表作である『ノルウェイの森』について再考し、論文化した。『ノルウェイの森』の帯に書かれた「恋愛小説」という自己規定を視座として、各時代フィクションの恋愛観との関係を考察した。 2点目はテレビドラマを中心とした日本の現代文化の研究である。この点については、ドラマとロケ地との関係を考察し、特に中央大学のある多摩地域の特徴について考察をまとめた。今秋刊行の書籍(アンソロジー)の1章として掲載する予定である。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	研究成果として、次の論文を発表した。 『「ノルウェイの森」と村上春樹作品の恋愛像」 (『中央大学文学部紀要』通巻299号、2024年2月) さらに、テレビドラマとロケ地に関する論考を今秋発表する予定である。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	1点目の課題である村上春樹研究に関しては、今回の研究成果を近年の長編小説である『騎士団長殺し』『街とその不確かな壁』の研究へと継続させていきたい。 2点目の課題であるテレビドラマ研究に関しては、今回の多摩地域の研究成果をさらに他の地域に広げ、映像作品との関係の研究につなげていきたい。 どちらの研究成果についても、担当する講義・演習授業の内容にその成果を取り入れるように努め、履修する学生たちに新しい刺激を受けてもらええるような教材作りに活かしていきたい。